

第139回近畿産科婦人科学会学術集会
プログラム・講演抄録

会 期：平成30年10月7日(日)

会 場：リーガロイヤルホテル大阪

近畿産科婦人科学会 会長 赤 崎 正 佳
学術集会長 小 林 浩

(注意：当日は抄録集を発行いたしませんので、必ず本誌をご持参ください)

第139回近畿産科婦人科学会学術集会 ご案内

会 期：平成30年10月7日（日）

会 場：リーガロイヤルホテル大阪「光琳」

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68

TEL：06-6448-1121 FAX：06-6448-4414

第1会場：タワーウイング3階

開会式，腫瘍研究部会，ランチョンセミナー1，アフタヌーンセミナー1，
指導医講習会，医療倫理講習会，閉会式

第2会場：タワーウイング3階

周産期研究部会，ランチョンセミナー2，アフタヌーンセミナー2，
医療安全講習会，感染対策講習会

第3会場：タワーウイング3階

生殖内分泌・女性ヘルスケア研究部会，ランチョンセミナー3，
日産婦医会委員会ワークショップ

＜講習会単位のご案内＞

ご注意！

同時開催の講習では，どちらか一方の単位のみ取得が可能です。

同時刻開催の複数の単位取得は，取り消しとなりますのでご注意ください。

10：45～11：45	産婦人科領域講習	1単位	腫瘍研究部会「指定講演2」 *退室時参加登録
10：45～11：45	産婦人科領域講習	1単位	周産期研究部会「指定講演」 *退室時参加登録
10：30～11：30	産婦人科領域講習	1単位	生殖内分泌・女性ヘルスケア研究部会「基調講演」 *退室時参加登録
12：00～13：00	産婦人科領域講習	1単位	ランチョンセミナー1「卵巣がんに対する分子標的薬をどう使うか？」 *退室時参加登録
12：00～13：00	産婦人科領域講習	1単位	ランチョンセミナー2「わが国のがん・生殖医療/妊孕性温存の現状と課題ー量的・質的均てん化への取り組み」 *退室時参加登録

12:00～13:00	産婦人科領域講習	1単位	ランチョンセミナー3「新たなLEPは必要か？温故知新2018～LEPを再考し、新たなLEPを展望する～」 *退室時参加登録
13:15～14:15	産婦人科領域講習	1単位	アフタヌーンセミナー1「子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術（UAE）の実際」「子宮筋腫と肉腫との鑑別～MRIを中心に～」 *退室時参加登録
13:15～14:15	産婦人科領域講習	1単位	アフタヌーンセミナー2「ロボット時代の到来と腹腔鏡手術の位置づけ」 *退室時参加登録
14:30～15:30	産婦人科領域講習	1単位	指導医講習会「米国の臨床体験から考える日本の臨床医療」 *退室時参加登録
14:30～15:30	共通講習 (医療安全)	1単位	医療安全講習会「もし医療事故の当事者になったら～医療安全管理部門からのご願い～」 *退室時参加登録
15:30～16:30	産婦人科領域講習	1単位	日産婦医会委員会ワークショップ「がん経験者のこれからを考える」 *退室時参加登録
15:40～16:40	共通講習 (医療倫理)	1単位	医療倫理講習会「「臨床研究法」施行元年！～知っておくべきマナーと常識～」 *退室時参加登録
15:40～16:40	共通講習 (感染対策)	1単位	感染対策講習会「産科婦人科領域における感染対策～特にESBL産生菌とHPVについて～」 *退室時参加登録

【参加登録方法】

各講習会場で「e医学会カード」のバーコードを読み取ることで参加登録を行います。

ご出席の先生は必ず「e医学会カード」にて参加登録を行ってください。

参加登録は退室時に行います。

*日本産科婦人科学会会員で「e医学会カード」を紛失等でお持ちでない方は運転免許証等でご本人確認の上、登録確認を行います。

<学会参加者へのご案内>

*学会参加費5,000円を会場受付で申し受けます。その際、参加証（領収書）をお受取りください。クレジットカードでのお支払いはできません。研修医・医学生の学会参加費は無料です。

*同会場ロイヤルホール等で、第45回日本産婦人科医会学術集会（主務：和歌山県産婦人科医会）を同時開催いたします。

<各種研修証明について>

- * 日本産科婦人科学会専門医 研修出席証明：10単位
「e医学会カード（UMINカード，日本産科婦人科学会発行）」を利用いたします。
会員の皆様は「e医学会カード」をご持参の上，受付にてお申し出ください。
- * 日本産科婦人科医会研修参加証：シールを1枚発行いたします。受付にてお申し出ください。

<演者へのお願い>

1. 講演者は各セッション開始30分前までに3階PC受付にて試写をお済ませください。
パソコンを持参される方もセッション開始30分前までに受付をお済ませください。
データは専用のPCに保存させていただきますが，発表が終わりしだい消去させていただきます。会場に用意してあるPCでは，パワーポイントの「発表者ツール」機能は使用できません。

【発表データをお持ち込みの方へ】

- ・ソフトはWindows版Power Point2007/2010/2013/2016をご使用ください。
※Macintoshをご使用の方は，PC本体をお持ち込みください。
※動画ファイルをご使用の方は，PC本体をお持ち込みください。
- ・フォントはOS標準のもののみご使用ください。
- ・画像の解像度は，XGA（1024×768）でお願いします。
- ・発表データはUSBフラッシュメモリーに保存してお持ちください。

【ノートPC本体をお持ち込みの方へ】

- ・バックアップとして，必ずメディアもご持参ください。
 - ・画像の解像度は10GA（1024×768）でお願いいたします。
 - ・PC受付の液晶モニターに接続し，映像の出力チェックを行ってください。
※PCの機種やOSによって出力設定方法が異なります。
 - ・プロジェクターとの接続ケーブルの端子はDsub-15ピンです。
 - ・PCによっては専用のコネクタが必要となりますので，必ずお持ちください。
※特に薄型ノートPCは別途付属コネクタが必要なことがありますので，ご注意ください。
 - ・スクリーンセーバー，省電力設定は事前に解除願います。
 - ・コンセント用電源アダプタを必ずご持参ください。
※内臓バッテリー駆動ですと，発表中に映像が切れる恐れがあります。
2. 発表10分前には，各会場内前方の「次演者席」に着席し，待機してください。

＜ 学 会 場 案 内 図 ＞

■会 場：リーガロイヤルホテル大阪「光琳」
 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5-3-68
 TEL：06-6448-1121 FAX：06-6448-4414

■交通のご案内

リーガロイヤルバス（無料送迎バス）

【リーガロイヤルホテル～JR「大阪」駅を循環】

○運行時間／毎日7：30～22：00 定員28名

7：30～10：00（15分間隔） 10：00～21：00（6分間隔） 21：00～22：00（15分間隔）

※JR「大阪」駅からの始発便は7：45発，最終便は22：15発となります。

○乗り場／JR「大阪」駅西側高架南寄り（桜橋口よりお越しください。）

電車で 京阪電車中之島線「中之島」駅直結

JR東西線「新福島」駅徒歩 約8分 阪神本線「福島」駅徒歩 約8分

お車で 大阪空港（伊丹）から 約30分 JR「新大阪」駅から 約20分

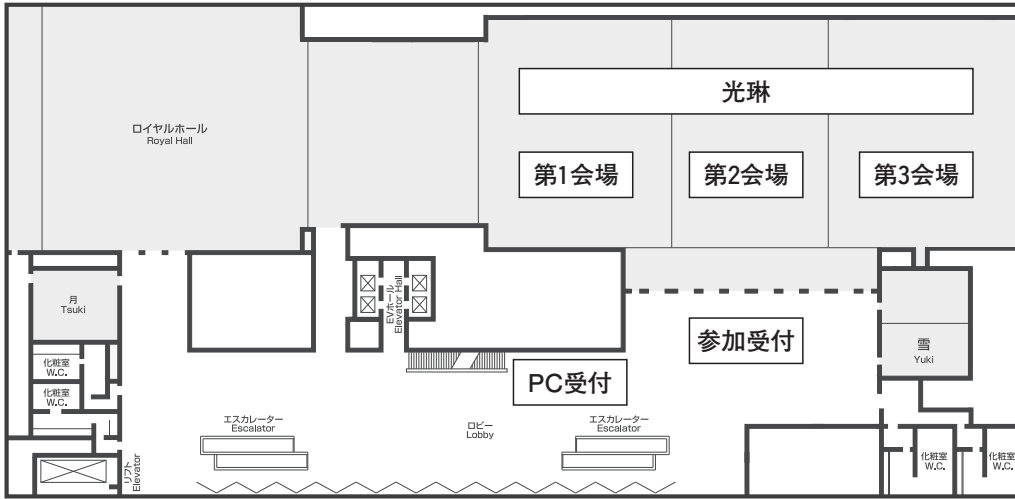
JR「大阪」駅から 約10分 地下鉄「なんば」駅から 約15分

バスで JR「大阪」駅前から53番で 約10分 「堂島大橋」下車すぐ

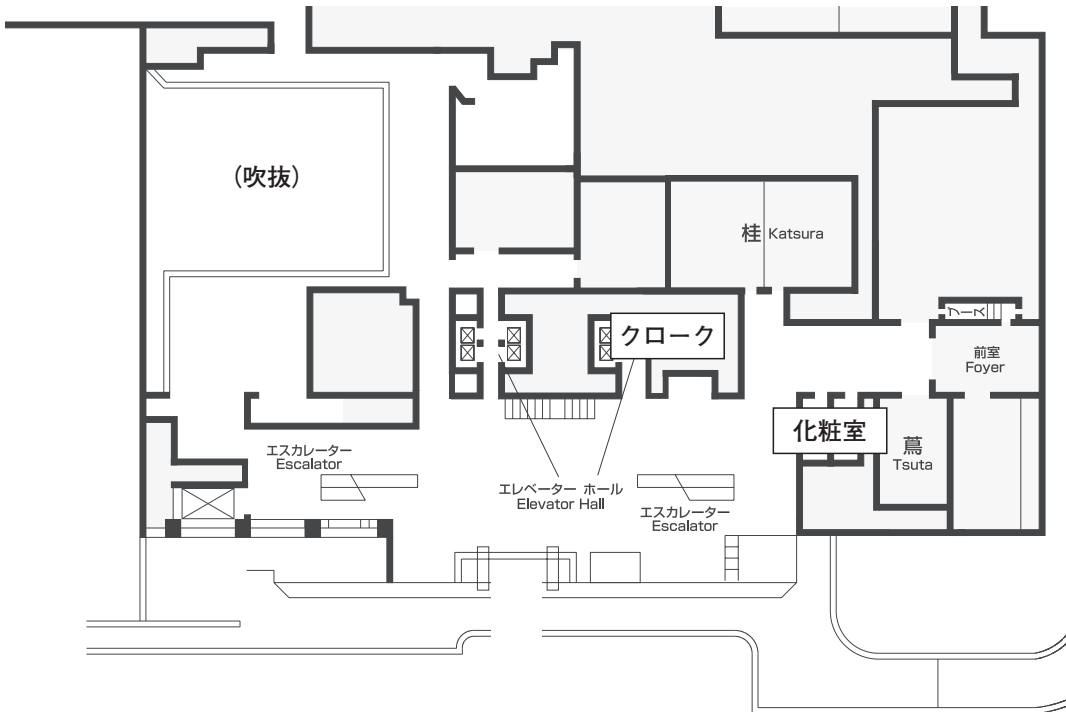


< 会場案内図 >

■ タワーウイング (3F)



■ クロークのご案内 (2F)



学会進行表

■10月7日（日）

	第1会場[光琳1]	第2会場[光琳2]	第3会場[光琳3]	
8:40	開会式			
8:45	腫瘍研究部会 テーマ「HBOC関連症例報告ならびに近畿地区におけるHBOC地域連携に向けての取り組み」 <div style="text-align: right;">(P)</div>	周産期研究部会 テーマ「産科急変時の対応～母体救命のために」 <div style="text-align: right;">(P)</div>	生殖内分泌・女性ヘルスケア研究部会 テーマ「外来子宮鏡検査・手術」 <div style="text-align: right;">(P)</div>	
11:45				
12:00	ランチョンセミナー1 【中外製薬】 演者：万代昌紀 (京都大学) 座長：大道正英 (大阪医科大学) <div style="text-align: right;">(P)</div>	ランチョンセミナー2 【富士製薬工業】 演者：高井 泰 (埼玉医大総合医療センター) 座長：村上 節 (滋賀医科大学) <div style="text-align: right;">(P)</div>	ランチョンセミナー3 【ノーベルファーマ/あすか製薬】 演者：阪埜浩司 (慶應義塾大学) 座長：岡田英孝 (関西医科大学) <div style="text-align: right;">(P)</div>	
13:00				
13:15	アフタヌーンセミナー1 【日本化薬】 演者： 1) 澤田健二郎(大阪大学) 2) 高濱潤子(奈良県立医科大学) 座長：小林 浩 (奈良県立医科大学) <div style="text-align: right;">(P)</div>	アフタヌーンセミナー2 【ジョンソン・エンド・ジョンソン】 演者：三木通保 (天理よろづ相談所病院) 座長：松村謙臣 (近畿大学) <div style="text-align: right;">(P)</div>		
14:15				
14:30	指導医講習会 演者：赤井靖宏 (奈良医大臨床研修センター) 座長：木村 正 (大阪大学) <div style="text-align: right;">(P)</div>	医療安全講習会 演者：友田恒一 (奈良医大医療安全推進室) 座長：柴原浩章 (兵庫医科大学) <div style="text-align: right;">(P)</div>	日産婦医会委員会 ワークショップ 「がん経験者のこれからの考える」 座長：中井英勝 (近畿大学) 山下 健 (大和郡山病院)	
15:30				
15:40	医療倫理講習会 演者：笠原正登 (奈良医大臨床研究センター) 座長：古山将康 (大阪市立大学) <div style="text-align: right;">(P)</div>	感染対策講習会 演者：笠原 敬 (奈良医大感染管理室) 座長：山田秀人 (神戸大学) <div style="text-align: right;">(P)</div>		
16:40	閉会式			16:30

※(P)は日本専門医機構単位取得可能講演のことです。

■10月7日（日）

ランチョンセミナー

Ⓟ

●12：00～13：00 第1会場（光琳1）

1. 「卵巣がんに対する分子標的薬をどう使うか？」

座長：大阪医科大学産婦人科学教室教授

大道正英先生

演者：京都大学大学院医学研究科婦人科学産科学分野教授

万代昌紀先生

共催：中外製薬株式会社

●12：00～13：00 第2会場（光琳2）

2. 「わが国のがん・生殖医療／妊孕性温存の現状と課題
一量的・質的均てん化への取り組み」

座長：滋賀医科大学産科婦人科学講座教授

村上節先生

演者：埼玉医科大学総合医療センター産婦人科教授

高井泰先生

共催：富士製薬工業製薬株式会社

●12：00～13：00 第3会場（光琳3）

3. 「新たな LEP は必要か？温故知新 2018 ～ LEP を再考し，新たな LEP を展望する～」

座長：関西医科大学産科学婦人科学教室教授

岡田英孝先生

演者：慶應義塾大学医学部産婦人科学教室准教授

阪埜浩司先生

共催：ノーベルファーマ株式会社／あすか製薬株式会社

アフタヌーンセミナー

Ⓟ

● 13:15~14:15 第1会場 (光琳1)

座長：奈良県立医科大学産科婦人科学教室教授

小林 浩 先生

1-1. 「子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術 (UAE) の実際」

演者：大阪大学医学系研究科産科学婦人科学教室講師

澤田 健二郎 先生

1-2. 「子宮筋腫と肉腫との鑑別～MRIを中心に～」

演者：奈良県立医科大学中央放射線部 准教授

高濱 潤子 先生

共催：日本化薬株式会社

● 13:15~14:15 第2会場 (光琳2)

2. 「ロボット時代の到来と腹腔鏡手術の位置づけ」

座長：近畿大学医学部産科婦人科学教室教授

松村 謙臣 先生

演者：天理よろづ相談所病院産婦人科

三木 通保 先生

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

指導医講習会

Ⓟ

● 14：30～15：30 第1会場（光琳1）

「米国の臨床体験から考える日本の臨床医療」

座長：大阪大学医学系研究科産科学婦人科学教室教授 木村正先生

演者：奈良県立医科大学地域医療学講座教授・臨床研修センター長
赤井靖宏先生

医療安全講習会

Ⓟ

● 14：30～15：30 第2会場（光琳2）

「もし医療事故の当事者になったら～医療安全管理部門からのお願い～」

座長：兵庫医科大学産科婦人科学講座主任教授 柴原浩章先生

演者：奈良県立医科大学附属病院 病院教授・医療安全推進室長
友田恒一先生

医療倫理講習会

Ⓟ

● 15：40～16：40 第1会場（光琳1）

「『臨床研究法』施行元年！～知っておくべきマナーと常識～」

座長：大阪市立大学大学院医学研究科女性生涯医学教授 古山将康先生

演者：奈良県立医科大学附属病院 病院教授・臨床研究センター長
笠原正登先生

感染対策講習会

Ⓟ

● 15：40～16：40 第2会場（光琳2）

「産科婦人科領域における感染対策～特に ESBL 産生菌と HPV について～」

座長：神戸大学大学院医学研究科外科学講座産科婦人科学分野教授

演者：奈良県立医科大学感染症センター准教授・感染管理室長
山田秀人先生
笠原敬先生

研究部会プログラム

■平成30年10月7日 (日)

【第104回腫瘍研究部会 (第1会場)】

(8:45~11:45)

開会のあいさつ (8:45~8:50)

代表世話人： 小林 浩
当番世話人：

テーマ：「HBOC関連症例報告ならびに近畿地区におけるHBOC地域連携に向けての取り組み」

(発表6分、質疑3分)

セッションⅠ (8:50~9:35)

座長：堀 謙輔

1. 「患者の遺伝性腫瘍に関する理解と課題」

佐藤 智佳, 木戸 健陽, 村田 絃未, 佛原 悠介, 久松 洋司, 溝上 友美,
北 正人, 岡田 英孝 (関西医科大学)

2. 「当院における遺伝性乳癌卵巣癌症候群 (HBOC) 診療体制の立ち上げと院内連携」

前田 英子¹⁾, 森 泰輔¹⁾, 松島 洋¹⁾, 小野 寿子²⁾, 勝元 さえこ³⁾, 福田 令³⁾,
澤田 守男¹⁾, 黒星 晴夫¹⁾, 北脇 城¹⁾

(京都府立医科大学¹⁾, 同乳腺外科²⁾, 同遺伝子診療部認定遺伝カウンセラー³⁾)

3. 「当院におけるHBOCカウンセリングの現状」

上村 真央¹⁾, 高橋 顕雅⁴⁾, 渡辺 智之¹⁾, 脇ノ上 史朗¹⁾, 林 嘉彦¹⁾, 山岸 美紀²⁾,
東出 俊³⁾ (市立長浜病院¹⁾, 患者相談支援センター²⁾, 外科³⁾, 滋賀医科大学付属病院⁴⁾)

4. 「当院におけるHBOCに対する取り組み」

林 信孝, 門元 辰樹, 小池 彩美, 増田 望穂, 柳川 真澄, 山添 紗恵子,
崎山 明香, 松林 彩, 小山 瑠梨子, 田邊 更衣子, 大竹 紀子, 富田 裕之,
上松 和彦, 川崎 薫, 青木 卓哉, 吉岡 信也 (神戸市立医療センター中央市民病院)

5. 「当院におけるHBOC診療体制の現況」

丸岡 寛, 田中 良道, 寺田 信一, 古形 祐平, 藤原 聡枝, 田中 智人,
恒遠 啓示, 佐々木 浩, 寺井 義人, 大道 正英 (大阪医科大学)

セッションⅡ (9:35~10:11)

座長：上田 豊

6. 「当科における遺伝性乳癌卵巣癌症候群の拾い上げに関する後方視的検討」

内田 啓子, 山内 真, 笠井 真理, 福田 武史, 橋口 裕紀, 市村 友季,
安井 智代, 角 俊幸 (大阪市立大学)

7. 「オラパリブの恩恵を受けるプラチナ製剤感受性の再発卵巣・卵管・腹膜癌」

熊谷 広治, 坂井 昌弘, 前田 隆義, 篠原 智子 (大阪鉄道病院)

8. 「当科の遺伝性腫瘍カウンセリング外来について」

廣瀬 雅哉, 田口 奈緒, 種田 健司, 森下 紀, 安田 美樹, 中島 文香,
上林 翔大, 増田 望穂, 浅見 夕菜, 松田 洋子, 松坂 直, 荻野 敦子,
佐藤 浩 (兵庫県立尼崎総合医療センター)

9. 「当院における遺伝性乳癌卵巣癌症候群 (HBOC) に対する取り組み」

矢野 紘子^{1,2)}, 長尾 昌二^{1,2)}, 鈴木 一弘¹⁾, 金田 倫子¹⁾, 澁谷 剛志¹⁾, 山本 香澄¹⁾,
自見 倫敦¹⁾, 北井 美穂¹⁾, 塩崎 隆也¹⁾, 松岡 和子¹⁾, 須藤 保¹⁾, 山口 聡¹⁾,
秋丸 憲子²⁾, 菅原 宏美²⁾, 浦川 優作²⁾, 日下 咲²⁾, 松本 光史²⁾
(兵庫県立がんセンター¹⁾, 同遺伝診療科²⁾)

セッションⅢ (10:15~11:45)

座長: 小林 浩

指定講演 1

1. 「「地域がん診療連携拠点病院」としての遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設の役割
～HBOC診療の立ち上げと今後の展望～」

鶴田 智彦 (関西労災病院)

指定講演 2 ①

テーマ: HBOCの遺伝カウンセリング

2. 「HBOCの遺伝カウンセリングから始まった当院の遺伝疾患診療体制」

辻 なつき¹⁾, 大瀬戸 久美子²⁾, 小松 茅乃²⁾, 吉本 有希子²⁾, 濱田 航平¹⁾, 管 智美¹⁾,
多賀 敦子¹⁾, 秦 さおり¹⁾, 山本 瑠美子¹⁾, 安堂 有希子¹⁾, 小藺 裕喜¹⁾,
関山 健太郎¹⁾, 高原 祥子²⁾, 樋口 壽宏¹⁾

(田附興風会医学研究所 北野病院¹⁾, 同乳腺外科²⁾)

3. 「HBOC診療における院内連携と遺伝子診療部の役割」

橋本 香映 (大阪大学)

■平成30年10月7日（日）

【周産期研究部会（第2会場）】

(8:45~11:45)

開会のあいさつ（8:45~8:50）

当番世話人：藁谷 深洋子

テーマ：「産科急変時の対応 ～母体救命のために～」

(発表5分、質疑2分)

セッションI（8:50~9:25）

座長：大久保 智治

1. 「母児ともに救命できた子宮型羊水塞栓症の1例 ～搬送をお願いした立場から～」

田中 あゆみ, 河崎 あさひ, 池野 慎治, 三村 治, 野原 当, 藤原 卓夫

(あさぎり病院)

2. 「母児ともに救命できた子宮型羊水塞栓症の1例 ～搬送を受け入れた立場から～」

池澤 勇二, 佐原 裕美子, 前田 振一郎, 三村 裕美, 小菊 愛, 登村 信之,

森上 聡子, 近田 恵里, 川北 かおり, 佐本 崇, 竹内 康人

(神戸市立西神戸医療センター)

3. 「誘発分娩中に心肺虚脱型羊水塞栓症を発症した1例」

折出 唯志, 町村 栄聡, 本多 秀峰, 山本 幸代, 宇田 元, 北井 俊大, 磯部 晶,

増原 完治, 信永 敏克

(兵庫県立西宮病院)

4. 「常位胎盤早期剥離様の症状と危機的出血をきたした子宮内胎児死亡の1例」

鈴木 直宏, 千草 義継, 植田 彰彦, 中北 麦, 最上 晴太, 近藤 英治,

万代 昌紀

(京都大学)

5. 「当院で管理した常位胎盤早期剥離による子宮内胎児死亡の5症例」

谷脇 絢子, 三枚 卓也, 中井 建策, 末包 智紀, 稲葉 尚美, 小西 菜普子,

豊田 千春, 芦村 恵, 高瀬 亜紀, 横井 夏子, 羽室 明洋, 中野 朱美, 橘 大介,

古山 将康

(大阪市立大学)

セッションⅡ (9:25~10:00)

座長 小野 哲男

6. 「分娩経過中にくも膜下出血を発症した1例」

全 梨花, 中川 哲也, 四方 寛子

(済生会滋賀県病院)

7. 「一次医療機関における妊婦心肺停止の経験と院内シミュレーション」

谷口 武, 秋田 絵理, 根来 英典, 富山 俊彦, 鈴木 史明

(医療法人定生会 谷口病院)

8. 「妊婦の心停止症例に対して各科連携にて母児ともに救命した1例」

藤城 亜貴子¹⁾, 坪内 弘明¹⁾, 小林 まりや¹⁾, 谷口 翠¹⁾, 前田 通秀¹⁾, 前中 隆秀¹⁾,
繁田 直哉¹⁾, 張 良実¹⁾, 鹿戸 佳代子¹⁾, 谷口 武²⁾, 横井 猛³⁾, 荻田 和秀¹⁾⁽¹⁾りんくう総合医療センター, ⁽²⁾谷口病院, ⁽³⁾市立貝塚病院)

9. 「当院で経験した子宮全摘術を要した産後危機的出血13症例の検討」

前田 振一郎, 森上 聡子, 池澤 勇二, 三村 裕美, 小菊 愛, 登村 信之, 近田 恵里,
佐原 裕美子, 川北 かおり, 佐本 崇, 竹内 康人 (神戸市立西神戸医療センター)

10. 「当周産期母子医療センターに搬送された分娩後異常出血の検討」

富本 雅子, 常見 泰平, 隅田 大地, 前花 知果, 竹田 善紀, 中野 和俊,
中村 春樹, 佐道 俊幸, 小林 浩

(奈良県立医科大学)

セッションⅢ (10:00~10:35)

座長 荻田 和秀

11. 「当院における産科出血症例への対応」

千草 義継, 鈴木 直宏, 植田 彰彦, 中北 麦, 最上 晴太, 近藤 英治,
万代 昌紀

(京都大学)

12. 「早期分娩後出血に対するBakriバルーンの有用性」

布出 実紗, 大門 篤史, 村山 結美, 永易 洋子, 佐野 匠, 藤田 太輔,
寺井 義人, 大道 正英

(大阪医科大学)

13. 「分娩後出血に対し子宮動脈塞栓術を施行した6例」

岡本 遼太¹⁾, 清時 毅典²⁾, 柏原 麻子²⁾, 谷川 真奈美²⁾, 大前 健一³⁾,
片山 隆章²⁾(姫路聖マリア病院 ¹⁾初期研修医 ²⁾産婦人科 ³⁾放射線科)

14. 「当院で産科関連出血に対しIVRを施行した症例とその検討」

片山 晃久, 松本 真理子, 松尾 精記, 山口 奈津子, 森崎 秋乃, 小木曾 望,
富田 純子, 安尾 忠浩, 大久保 智治

(京都第一赤十字病院)

15. 「当院の超緊急帝王切開術 (Grade A CS) に対する取り組み」

松本 愛世, 徳川 睦美, 神野 友里, 大歳 愛由子, 澤田 育子, 塚原 稚香子,
中川 美生, 宮武 崇, 久本 浩司, 西尾 幸浩

(大阪警察病院)

セッションⅣ (10:45~11:45)

指定講演 ㊦

座長 山田 秀人

「急変母体の救命 ～J-MELSアドバンスコースでできること～」

三宅 康史

(帝京大学大学医学部附属病院高度救命救急センター・センター長/
帝京大学医学部救急医学講座・教授)

■平成30年10月7日（日）

【生殖内分泌・女性ヘルスケア研究部会（第3会場）】

(9:00~11:30)

開会のあいさつ

代表世話人：柴原 浩章

テーマ：「外来子宮鏡検査・手術」

(発表6分, 質疑3分)

セッションⅠ (9:00~9:45)

司会・座長：楠木 泉

一般演題

1. 「当院における外来子宮鏡手術の現況」

小芝 明美, 楠木 泉, 伊藤 文武, 松島 洋, 森 泰輔, 北脇 城

(京都府立医科大学)

2. 「精度の高い診断と安全に子宮鏡下手術を行うための外来子宮鏡検査」

小谷 泰史, 辻 勲, 佐藤 華子, 城 玲央奈, 藤島 理沙, 甲斐 冴,
大須賀 拓真, 青木 稚人, 葉 宜慧, 村上 幸祐, 高矢 寿光, 中井 英勝,
鈴木 彩子, 松村 謙臣

(近畿大学)

3. 「子宮鏡補助下卵管鏡下卵管形成術の有効性」

藤井 雄太, 福井 淳史, 佐伯 信一郎, 松岡 理恵, 加藤 徹, 柴原 浩章

(兵庫医科大学)

4. 「当院での子宮鏡下選択的卵管造影検査の現況」

徐 東舜

(徐クリニックARTセンター)

5. 「当院で行う子宮鏡検査・手術の現況：不妊症症例を中心に」

井上 卓也, 大坪 昌弘, 潮田 至央, 濱田 啓義, 須藤 慎介, 草開 恵里子,
立入 智恵子, 眞田 佐知子, 須戸 龍男, 山出 一郎, 矢野 樹理, 中山 貴弘,
畑山 博

(医療法人財団 足立病院)

セッションⅡ (9:45~10:30)

司会：楠木 泉

座長：北脇 城

滋賀医科大学アンケート報告

「子宮内膜症に対する外来診療の実態調査」

笠原 恭子

セッションⅢ (10:30~11:30) ㊦

司会：楠木 泉

座長：北脇 城

基調講演「外来子宮鏡～検査からinterventionへ～」

演者：東京大学 平池 修

閉会のあいさつ

当番世話人：北脇 城